

Device Control アプリ 取扱説明書

November 2021, 3rd Edition

目次

はじめに	2
Device Control アプリとは.....	2
記載内容について	2
準備	2
DC アプリ対応モデル.....	3
管理用端末の準備	4
QR コードを利用して DC アプリをインストールする	4
ポリシー	6
ポリシーの作成	6
ポリシーの編集	6
ポリシーの確認	7
ポリシーの名前の変更	7
ポリシーの削除	8
詳細設定	8
配布用端末の準備	10
NFC を使用した DC アプリのインストール.....	10
QR コードを使用した DC アプリのインストール.....	11
配布用端末へのポリシーの転送	13
NFC を使用した配布用端末へのポリシーの転送.....	13
QR コードを使用した配布用端末へのポリシーの転送.....	13
配布用端末のポリシー管理	14
DC アプリの管理.....	15
アプリのアップデート	15
アプリのアンインストール	15
ポリシー作成例	16
重要な注意事項	16
設定例 1	16
設定例 2	16
ポリシーの制限と機能	18

はじめに

Device Control アプリとは

Device Control アプリ（以下「DC アプリ」と表記します）は小規模オフィス向けに開発した端末管理アプリです。京セラの MDM 機能を利用することで、携帯電話の機能を制限し、業務に最適な状態にすることができるサポートツールです。誤った設定や設定の組み合わせは意図しない結果を招き、端末の動作を停止させる可能性があります。

端末の制御は主に企業の IT 管理者またはアカウント管理者の端末管理支援を目的としています。これは、すべての端末が一貫した制御された構成を持つことを保証するための費用対効果の高い方法を提供します。

記載内容について

端末を管理するための方法及び、それを配布用端末へ配布するために必要な基本情報を提供します。

- 管理用端末の準備
 - 管理者がポリシーを設定します
- ポリシー の作成
 - 特定の端末構成（機能の有効/無効）を作成します
- 配布用端末の準備
 - 作業員へ配布用に管理用端末のセットアップ内容を複製します
- 配布用端末へポリシーの転送

この取扱説明書は、DC アプリ Ver. 2.1.0 を元に記載しています。この取扱説明書に記載の操作方法は、端末のソフトウェアバージョンやアプリのバージョンによって変わることがあります。

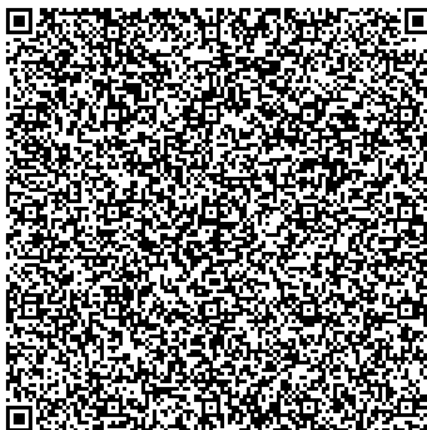
ご注意：DC アプリを立ち上げる時、ホーム画面から [Device Control] をタップできるモデルと、一度  をタップした後、[Device Control] をタップするモデルがあります。

準備

以下のものを準備してください。

- 登録済みユーザーアカウントとパスワード
 - DC アプリを使用するには、ユーザーアカウントのメールアドレスとパスワードを京セラに登録する必要があります。
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcapp.html> へアクセスして登録してください。

- DC アプリ対応京セラ製端末
 - 管理用端末
 - 配布用端末
- DC アプリ
 - DC アプリをインストールするには、次の QR コードと「管理用端末の準備」の手順を参照してください。



DC アプリ対応モデル

京セラ製の DC アプリ対応モデルについての最新の情報は、
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/concept/solution/dcapp.html>

をご確認ください。管理用端末の準備

管理用端末は、アカウント管理者がポリシーを作成するために使用します。最大 30 のポリシーを端末に保存できます。管理用端末から NFC や QR コードを利用して配布用端末に DC アプリや作成したポリシーをコピーすることができます。

QR コードを利用して DC アプリをインストールする

京セラから提供される QR コードを使用して、DC アプリを工場出荷時の状態の端末にインストールします。DC アプリを端末にインストールし、端末所有者モードに設定します。

1. 管理者用端末が出荷時の状態であることを確認する
 - すでに端末の電源を入れているときは、「すべてのデータを消去(出荷時リセット)」を行い、出荷時の状態にする
2. 電源ボタンを長押しする
3. 管理用端末に「日本語（日本）」が出ていることを確認する
4. 画面上の任意の空白個所を数回タップする
 - QR コードリーダーが立ち上がる
5. 京セラが提供する QR コードを読み取る
 - Wi-Fi[®] 設定画面が表示される
6. [Wi-Fi の使用] または ON/OFF 設定をタップして「Wi-Fi の使用」を [ON] にする
7. 接続する Wi-Fi ネットワーク名をタップする
8. 必要に応じて [パスワードを入力] → [接続] → [次へ]
 - 「端末を設定してください」が表示される
9. [メッセージを読む] → [同意して続行]
 - 「仕事用端末を設定中」が表示されるので、画面の案内に従い操作する
10. ホーム画面 → [Device Control]
11. 「ソフトウェア使用許諾契約」と「情報収集」に同意する
 - a. [ソフトウェア使用許諾契約] → 「ソフトウェア使用許諾契約」を読む → [OK]
 - b. [情報収集] → 「情報収集」を読む → [OK]
 - c. 同意できれば、[同意する] をタップする

12. 「インフォメーション」 (Device Config Plugin のインストール) に同意する

a. 「インフォメーション」を読む → [OK]

13. DC アプリ用の[メールアドレス]と[パスワード]を入力する

注意 : [メールアドレス]と[パスワード]は

<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcapp.html> で登録したメールアドレスとパスワードです。

- 業種を教えてください メニューが出る

14. [(未選択)] → 「業種を選択」 → [OK]

ポリシー

ポリシーとは、特定のデバイス構成を作成するための一連の設定（制限と機能）です。最大 30 個の異なるポリシーを保存できますが、有効にできるポリシーは 1 つだけです。各ポリシーには名前を付けることができ、保存、編集、確認、名前の変更、または削除を行うことができます。たとえば、ホテルでは、「ハウスキーピング」、「メンテナンス」、や「管理」のために別々のポリシーを作成する場合があります。各ポリシーには、端末の動作を制御するさまざまな設定のグループが含まれています。ハウスキーピングスタッフ用の装置を準備するときには、「ハウスキーピング」ポリシーのみが配布装置に転送されて有効化されます。ポリシーのサンプルは「[ポリシー作成例](#)」に記載しています。

ポリシーの作成

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [新規作成]

– または –

[ポリシー管理] → 

3. [ポリシーの名前を入力] → [OK]

注意： 同じ名前のポリシーを作ることはできません。

4. 制限する項目または[詳細設定]をタップする

例： Bluetooth® 機能全体を無効にする

- a. [Bluetooth 無効]または ON/OFF 設定をタップして Bluetooth 無効を[ON]にする

5. [保存]

- 設定した内容が表示される

注意： “データの初期化の無効化” は初期設定でオンになっています。

6. [保存]

ポリシーの編集

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [一覧から選ぶ]

– または –

[ポリシー管理] をタップしてポリシーメニューを開く

3. 編集するポリシー設定をタップする
4. [編集]
5. 制限する項目もしくは、[詳細設定]をタップして編集する
6. [保存]
 - 設定した内容が表示される
7. 制限事項の一覧を確認する
8. [保存]

ポリシーの確認

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [一覧から選ぶ]
 - または -
 - [ポリシー管理] をタップしてポリシーメニューを開く
3. 内容を確認するポリシーをタップする
4. [項目レビュー]
 - 設定内容が表示される
5. [OK]

ポリシーの名前の変更

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [一覧から選ぶ]
 - または -
 - [ポリシー管理] をタップしてポリシーメニューを開く
3. 名前を変更するポリシーをタップする
4. [名前変更]
5. [新しい名前を入力] → [OK]

注意： 同じ名前のポリシーを作ることはできません。

ポリシーの削除

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [一覧から選ぶ]
- または -
[ポリシー管理] をタップしてポリシーメニューを開く
3. 削除するポリシーをタップする
4. [削除]
5. 確認して [削除] をタップする

詳細設定

詳細設定では、機能のオン/オフだけでなく詳細な設定が可能です。

注意：「詳細設定では、機能のオン/オフだけでなく詳細な設定も可能ですが、デバイスの使いやすさに大きな影響を与える可能性があります。これらの設定を誤って変更すると、重要なデータの損失、工場出荷時の状態へのリセットまたは、端末が使用できなくなる可能性があります。

詳細設定の項目については、「[ポリシーの制限と機能](#)」を参照ください。

次の手順で詳細設定を有効にできます。

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [新規作成]
- または -
[ポリシー管理] → 
3. [ポリシーの名前を入力] → [OK]
4. [詳細設定]
5. 設定する項目をタップし、タイトルまたは ON/OFF 設定をタップしてオンにする
例：Bluetooth テザリングを無効にする
 - a. [Bluetooth]

- b. **「テザリングの無効化」** または ON/OFF 設定をタップして、「**テザリングの無効化**」をオンにする

6. 必要な設定が終わるまで、ステップ5を繰り返す

7. **「保存」**

- 設定した内容が表示される

注意：“**データの初期化の無効化**” は初期設定でオンになっています。

8. **「保存」**

配布用端末の準備

配布用端末へは特定の設定ポリシーを入れて使用者に配布することができます。 端末の機能を設定し制限を適用するには、正しくプロビジョニングする必要があります。 プロビジョニングプロセスを開始するには、管理用端末の「プロビジョニング」で NFC を使用する方法、もしくは QR コードを使用する方法を選択します。

NFC を使用した DC アプリのインストール

＜ 配布用端末の操作 ＞

1. 出荷時の状態であることを確認する
 - すでに端末の電源を入れているときは、「すべてのデータを消去(出荷時リセット)」を行い、出荷時の状態にする
2. 電源ボタンを長押しする
3. 「日本語（日本）」が出ていることを確認する

＜ 管理用端末の操作 ＞

4. ホーム画面 → [Device Control]
 - a. 必要に応じて、メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン]をタップする
5. [管理用端末] → [プロビジョニング] → [NFC プロビジョニング]
 - NFC がオンになっていない場合、NFC をオンにしますか？ メッセージが出るので、以下の操作をする
 - a. [OK] をタップして、「接続済みの端末」メニューを出し NFC をオンにする
 - b. [◀]を数回タップし、「NFC プロビジョニング」メニューに戻る
6. 必要に応じて、「Wi-Fi ネットワーク名」、「Wi-Fi セキュリティタイプ」及び「Wi-Fi パスワード」を入力する
7. [システムアプリの無効化をスキップします] をタップして「システムアプリの無効化をスキップします」をオンにする
8. [プロビジョニング]
 - NFC 転送モードになる

＜ 管理用端末・配布用端末の操作 ＞

9. 管理用端末と配布用端末を背中合わせにする

＜ 配布用端末の操作 ＞

10. NFC 経由でデータを受信案内が表示された場合、[OK]をタップする
11. Wi-Fi 選択メニューが出たら、Wi-Fi 設定を行い[次へ]をタップする
12. “端末を設定してください” を読み、了承したら[同意して続行]をタップする
13. 画面の指示に従い端末の設定をする

注意：DC アプリを初めて立ち上げたとき、「インフォメーション」ダイアログ（Device Config Plugin のインストールの同意）が表示されるので[OK]をタップする。

QR コードを使用した DC アプリのインストール

＜ 配布用端末の操作 ＞

1. 出荷時の状態であることを確認する
 - すでに端末の電源を入れているときは、「すべてのデータを消去(出荷時リセット)」を行い、出荷時の状態にする
2. 電源ボタンを長押しする
3. 「日本語（日本）」が出ていることを確認する

＜ 管理用端末の操作 ＞

4. ホーム画面 → [Device Control]
 - a. 必要に応じて、メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン]をタップする
5. [管理用端末] → [プロビジョニング] → [QR コードプロビジョニング]
6. 必要に応じて、「Wi-Fi ネットワーク名」、「Wi-Fi セキュリティタイプ」及び「Wi-Fi パスワード」を入力する
7. [システムアプリの無効化をスキップします] をタップして「システムアプリの無効化をスキップします」をオンにする
8. [QR コード生成]

- QR コードが表示される

＜ 配布用端末の操作 ＞

9. 画面上の任意の空白個所を数回タップする

- QR コードリーダーが立ち上がる

10. 管理者用端末に表示されている QR コードを読み取る

11. Wi-Fi 設定メニューが出たら Wi-Fi を設定し、[次へ]をタップする

12. “端末を設定してください” を読み、了承したら[同意して続行]をタップする

13. 画面の指示に従い端末の設定をする

注意：DC アプリを初めて立ち上げたとき、「インフォメーション」ダイアログ（Device Config Plugin のインストールの同意）が表示されるので[OK]をタップする。

配布用端末へのポリシーの転送

NFC を使用した配布用端末へのポリシーの転送

＜ 管理用端末・配布用端末の操作 ＞

1. 管理用端末・配布用端末の NFC 機能をオンにする

＜ 管理用端末の操作 ＞

2. [管理用端末] → [ポリシー送信] → [NFC]
3. 転送するポリシーをタップする
4. [OK] → [送信]

＜ 管理用端末・配布用端末の操作 ＞

5. 管理用端末と配布用端末を背中合わせにする

＜ 配布用端末の操作 ＞

6. NFC 経由でデータを受信案内が表示された場合、[OK]をタップする
 - DC アプリが立ち上がり、ポリシーの転送完了が表示される。

QR コードを使用した配布用端末へのポリシーの転送

＜ 管理用端末の操作 ＞

1. [管理用端末] → [ポリシー送信] → [QR コード]
2. 転送するポリシーをタップする
3. [OK]
 - QR コードが表示される

＜ 配布用端末の操作 ＞

4. [配布用端末] → [ポリシー受信] → [QR コード]

- QR コードリーダーが立ち上がる
5. 管理者用端末に表示されている QR コードを読み取る
 - 成功したら「成功 “〇〇” を作成しました。」が表示される
 6. [OK]

配布用端末のポリシー管理

ポリシーを有効にする

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. [配布用端末] → [ポリシー実行]

– or –

[ポリシー管理]

3. 有効にするポリシーをタップする
4. [実行]

注意：有効にできるポリシーは1つだけです。新しいポリシーを有効にした場合、現在有効になっているポリシーは無効になります。

5. 終了したら[サインアウト]をタップする

注意：サインアウトをタップするまでユーザーは管理者権限を持ちポリシーを無効にすることができます。

ポリシーを無効にする

1. ホーム画面 → [Device Control]
2. サインインメニューが表示されたら、メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン]をタップする
 - 実行中のポリシーが表示される
3. [停止]

DC アプリの管理

アプリのアップデート

1. ホーム画面 → [Device Control]
2.  → [設定]
3. [アップデートをチェック]
 - Google Play ストアの DC アプリのダウンロード画面が表示される
 - Google Play にサインインしていない場合、サインインメニューが表示される
4. 画面に従い操作する

アプリのアンインストール

DC アプリをアンインストールするには、端末を初期化（工場出荷状態）にしてください。

注意：データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

ポリシー作成例

例題は、特定の顧客の要件を満たすようにポリシーを構築するために複数の制限と機能を選択できることを示しています。これらの例題は意図的に単純化しており、1つのポリシーのみを表しています。DC アプリは、指定された一連の要件を満たすために使用できるさまざまな設定、制限、機能を公開します。

一部の設定または設定の組み合わせ（特に「詳細設定」で公開されている設定）は、デバイスの操作性に重大な影響を与える可能性があることに注意してください。

重要な注意事項

DC アプリのポリシーによって提供される設定と制限は、ユーザーが割り当てられた構成を変更または回避できない場合にのみ有効です。次の各サンプルでは、ユーザーが「設定」メニューのオプションを使用して電話をリセットできないようにするために、「工場出荷時データリセットを無効にする」が選択されています。電話機を工場出荷時の状態に初期化することは、ユーザーがポリシーを回避する方法の一例です。技術的なスキルとユーザーの決定に応じて、目的のポリシーが有効であることを保証するために、追加の設定と高度な方法が必要になる場合があります。

設定例 1

シナリオ：宅配便業者は、街中に荷物を配達するトラックを所有しています。宅配業者はオフィスに連絡できるようにドライバーに端末を提供したいと考えています。しかし、ドライバーにGPS 設定を変更させたくありません。

端末制御の制限

カテゴリー	タイトル	設定内容
位置情報	GPS の有効化	位置情報取得の GPS 使用を強制的に有効にします
リセット	データの初期化の無効化	データの初期化を無効にします

設定例 2

シナリオ：建設会社は、すべての労働者に端末を提供することを計画していますが、インストールされているアプリを使用して時間を無駄にさせたくありません。

注意

DC アプリには、ユーザーが使用できるアプリケーションを制限するための複数の方法が用意されています。各方法の意味と、それがユーザーに与える影響を理解することが重要です。たとえば、単一のアプリケーションを無効にすると、他の依存アプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

端末制御の制限

カテゴリー	タイトル	設定内容
アプリ	アプリケーションの非表示化	非表示化がオンです。非表示アプリケーションリストのアプリケーションを非表示化します
アプリ	非表示アプリケーションリスト	非表示アプリケーションリストの管理（リストから非表示にするアプリケーションを選択します）
リセット	データの初期化の無効化	データの初期化を無効にします

ポリシーの制限と機能

制限機能一覧

タイトル		内容
Wi-Fi 無効		すべての Wi-Fi 機能を制限しません / すべての Wi-Fi 機能を無効にします
Bluetooth 無効		すべての Bluetooth 機能を制限しません / すべての Bluetooth 機能を無効にします
NFC 無効		NFC を制限しません / NFC を無効にします
カメラ無効		カメラを制限しません / カメラを無効にします
提供元不明アプリのインストール無効		提供元不明アプリのインストールを制限しません / 提供元不明アプリのインストールを無効にします
USB データ転送 (MTP) 無効		USB データ転送を制限しません / USB データ転送を無効にします
SD カード無効		SD カードの使用を制限しません / SD カードの使用を無効にします
モバイルデータ無効		モバイルデータを制限しません / モバイルデータを無効にします
カテゴリー	タイトル	内容
着信制限	着信の制限	着信を制限しません / 着信を無効にします
	電話帳を除く	電話帳登録済みの番号を無効にします / 電話帳登録済みの番号を制限しません
	ホワイトリスト番号	ホワイトリスト番号の管理
発信制限	発信の制限	発信を制限しません / 発信を無効にします
	電話帳を除く	電話帳登録済みの番号を無効にします / 電話帳登録済みの番号を制限しません
	ホワイトリスト番号	ホワイトリスト番号の管理

制限機能一覧（詳細設定）

カテゴリー	タイトル	内容
Wi-Fi	Wi-Fi 制限	
	Wi-Fi の無効化	すべての Wi-Fi 機能を制限しません / すべての Wi-Fi 機能を無効にします
	オープンネットワークの無効化	セキュリティで保護されていない Wi-Fi へのアクセスを制限しません / セキュリティで保護されていない Wi-Fi へのアクセスを無効にします

カテゴリー	タイトル	内容
	セットアップの無効化	Wi-Fi セットアップを制限しません / Wi-Fi セットアップを無効にします
	テザリングの無効化	Wi-Fi テザリングを制限しません / Wi-Fi テザリングを無効にします
Bluetooth	Bluetooth 制限	
	Bluetooth の無効化	すべての Bluetooth 機能を制限しません / すべての Bluetooth 機能を無効にします
	テザリングの無効化	Bluetooth テザリングを制限しません / Bluetooth テザリングを無効にします
	ペア設定の制限	ペア設定を制限しません / ペア設定を無効にします
	HFP プロファイルのみ許可	HFP、HSP、MAP、PBAP のプロファイルを制限しません / HFP、HSP、MAP、PBAP のプロファイルのみ許可しています
	オーディオプロファイルのみ許可	A2DP、AVRCP、HFP、HSP のプロファイルを制限しません / A2DP、AVRCP、HFP、HSP のプロファイルのみ許可しています
	データプロファイルのみ許可	GATT、HID、MAP OPP PAN、PBAP のプロファイルを制限しません / GATT、HID、MAP OPP PAN、PBAP のプロファイルのみ許可しています
	Bluetooth Class of Device/Service	
	Class of Device/Service Field の指定	Class of Device/Service Field を指定しません / Class of Device/Service Field を指定します
緊急通知	有効設定	
	緊急速報の有効化	緊急速報を制限しません / 緊急速報を強制的に有効にします
	重大通知の有効化	重大通知を制限しません / 重大通知を強制的に有効にします
	異常通知の有効化	異常通知を制限しません / 異常通知を強制的に有効にします
	無効設定	
	緊急速報の無効化	緊急速報を制限しません / 緊急速報を強制的に無効にします
	重大通知の無効化	重大通知を制限しません / 重大通知を強制的に無効にします
	異常通知の無効化	異常通知を制限しません / 異常通知を強制的に無効にします
ネットワーキング	VPN 制限	
	VPN の無効化	VPN を制限しません / VPN を無効にします
	グローバルプロキシ指定	グローバルプロキシを指定しません / グローバルプロキシを指定します
端末	端末機能の制限	
	端末機能制限	
	SMS の無効化	SMS を制限しません / SMS を無効にします

カテゴリー	タイトル	内容
	NFC の無効化	NFC を制限しません / NFC を無効にします
	OTA の無効化 *1	OTA ソフトウェア更新を制限しません / OTA ソフトウェア更新を無効にします
	カメラの無効化	カメラを制限しません / カメラを無効にします
	日付と時刻変更の無効化	日付と時刻変更を制限しません / 日付と時刻変更を無効にします
	通知パネルの無効化	通知パネルを制限しません / 通知パネルを無効にします
	バイブレーションの無効化	バイブレーションを制限しません / バイブレーションを無効にします
	提供元不明アプリの不認可	提供元不明アプリの設定を制限しません / 提供元不明アプリの設定を無効にします
	壁紙設定の無効化	壁紙設定を制限しません / 壁紙設定を無効にします
	電源オフの無効化	端末の電源オフを制限しません / 端末の電源オフを無効にします
	セーフモードの無効化	セーフモードを制限しません / セーフモードを無効にします
	リカバリーモードの無効化	リカバリーモードを制限しません / リカバリーモードを無効にします
	カーキット電源連動制限	カーキット電源連動を制限しません / 電源 ON のみ有効にします / 電源 ON/OFF を有効にします / 電源連動 ON/OFF を無効にします
	パスワード自動入力の無効化	パスワード自動入力を制限しません / パスワード自動入力を無効にします
	音量調整の無効化	マスターボリュームの調整を制限しません / マスターボリュームがミュートになっています
	マイクの無効化	マイクを制限しません / マイクを無効にします
	スクリーンショットの無効化	スクリーンショットを制限しません / スクリーンショットを無効にします
	クリップボードの無効化	コピー＆ペーストを制限しません / コピー＆ペーストを無効にします
	Doze モードの無効化	Doze モードを制限しません / Doze モードを無効にします
	通知制限	
	ON/OFF 設定編集の無効化	ON/OFF 設定編集を制限しません / ON/OFF 設定編集を無効にします
	電池へのショートカットの無効化	電池へのショートカットを制限しません / 電池へのショートカットを無効にします
	USB 制限	
	USB テザリングの無効化	USB テザリングを制限しません / USB テザリングを無効にします
	USB デバッグの無効化	USB デバッグを制限しません / USB デバッグを無効にします
	USB MTP の無効化	USB MTP を制限しません / USB MTP を無効にします

カテゴリー	タイトル	内容
	USB ホストの無効化	USB ホストを制限しません / USB ホストを無効にします
	SD カード制限	
	SD カードの無効化	SD カードの使用を制限しません / SD カードの使用を無効にします
	暗号化の有効化	SD カードの暗号化を制限しません / SD カードの暗号化を強制的に有効にします
	キーコントロール	
	キーイベント置換	
	キーイベント置換の有効化	キーイベント置換がオフです / キーイベント置換がオンです。キー操作時に特別なインテントを配信します。キーは下記項目で無効になります
	キー制限	
	履歴キーの無効化	履歴キーを制限しません / 履歴キーを無効にします
	電源ボタンの無効化	電源ボタンを制限しません / 電源ボタンを無効にします
	ボリュームアップボタンの無効化	ボリュームアップボタンを制限しません / ボリュームアップボタンを無効にします
	ボリュームダウンボタンの無効化	ボリュームダウンボタンを制限しません / ボリュームダウンボタンを無効にします
	ホームキー長押しの無効化	ホームキー長押しを制限しません / ホームキー長押しを無効にします
	カメラボタンの無効化	カメラボタンを制限しません / カメラボタンを無効にします
	ダイレクトボタンの無効化	ダイレクトボタンを制限しません / ダイレクトボタンを無効にします
	外部スピーカーボタンの無効化	外部スピーカーボタンを制限しません / 外部スピーカーボタンを無効にします
	SOS ボタンの無効化	SOS ボタンを制限しません / SOS ボタンを無効にします
	Kiosk 設定	
	Kiosk 設定	
	Kiosk モードの有効化	Kiosk モードがオフです / Kiosk モードがオンです。ポリシーを実行すると、Kiosk アプリの選択で選択したアプリのみをフォアグラウンドに表示します。端末起動時に表示する特別な画面で素早く 5 回画面をタップすると、この Device Control アプリが起動します
	Kiosk アプリの選択	Kiosk モードで表示されるアプリを選択します
通話	モバイルネットワークの制限	
	モバイルネットワークの制限	
	音声ローミングの無効化	音声ローミングを制限しません / 音声ローミングを無効にします

カテゴリー	タイトル	内容
	データローミングの無効化	データローミングを制限しません / データローミングを無効にします
	モバイルデータの無効化	モバイルデータを制限しません / モバイルデータを無効にします
	電話帳制限	
	電話帳制限	
	電話帳管理の無効化	電話帳管理を制限しません / 電話帳管理を無効にします
	着信制限	
	着信制限	
	着信の制限	着信を制限しません / 着信を無効にします
	電話帳を除く	電話帳登録済みの番号を無効にします / 電話帳登録済みの番号を制限しません
	ホワイトリスト番号	ホワイトリスト番号の管理
	発信制限	
	発信制限	
	発信の制限	発信を制限しません / 発信を無効にします
	電話帳を除く	電話帳登録済みの番号を無効にします / 電話帳登録済みの番号を制限しません
	ホワイトリスト番号	ホワイトリスト番号の管理
アプリ	システムアプリケーション制限	
	システムアプリケーション制限	
	Google バックアップの無効化	Google バックアップを制限しません / Google バックアップを無効にします
	緊急通知の無効化	緊急通知を制限しません / 緊急通知を無効にします
	設定の無効化	設定を制限しません / 設定を無効にします
	アンインストール禁止アプリケーションの登録	
	アンインストール禁止アプリケーションの登録	
	アプリケーションのアンインストール禁止	登録が無効です。 / 登録が有効です。アンインストール禁止リストで選択されたアプリをアンインストール禁止にします
	アンインストール禁止リスト	アンインストール禁止リストの管理
	非表示アプリケーション	
	非表示アプリケーション	
	アプリケーションの非表示化	非表示化がオフです / 非表示化がオンです。非表示アプリケーションリストのアプリケーションを非表示化します
	非表示アプリケーションリスト	非表示アプリケーションリストの管理

カテゴリー	タイトル	内容
リセット	データの初期化制限	
	データの初期化の無効化	データの初期化を制限しません / データの初期化を無効にします
位置情報	有効設定	
	GPS の有効化	位置情報取得の GPS 使用を制限しません / 位置情報取得の GPS 使用を強制的に有効にします
	無効設定	
	GPS の無効化	位置情報取得の GPS 使用を制限しません / 位置情報取得の GPS 使用を強制的に無効にします
	疑似ロケーション制限	
	疑似ロケーションの無効化	疑似ロケーションを制限しません / 疑似ロケーションを無効にします
セキュリティ	セキュリティ設定制限	
	SIM カードロックの無効化	SIM カードロックを制限しません / SIM カードロックを無効にします
	スタート画面設定制限	
	スタート画面上のカメラの無効化	スタート画面上のカメラを制限しません / スタート画面上のカメラを無効にします
	スタート画面上のショートカットの無効化	スタート画面上のショートカットを制限しません / スタート画面上のショートカットを無効にします
	スタート画面の通知の無効化	スタート画面上の通知を制限しません / スタート画面上の通知を無効にします
	スタート画面上の信頼できるエージェントの無効化	スタート画面上の信頼できるエージェントを制限しません / スタート画面上の信頼できるエージェントを無効にします
	未編集通知の無効化	未編集通知を制限しません / 未編集通知を無効にします
	スタート画面の指紋認証の無効化	スタート画面上の指紋認証を制限しません / スタート画面上の指紋認証を無効にします
	パスワード設定制限	
	パスワード入力の最大失敗回数	パスワード入力の最大失敗回数は設定されていません / パスワード入力の最大失敗回数は <設定した回数> に設定されています ロック解除パスワードの入力に設定した回数失敗したら、デバイスワイプを実行します
	ロックまでの最大時間	ロックまでの最大時間は設定されていません / ロックまでの最大時間は <設定した時間（秒）> に設定されています 端末ロックまでのユーザー操作可能な最大時間を設定してください

カテゴリー	タイトル	内容
	パスワードの有効期限	パスワードの有効期限は設定されていません / パスワードの有効期限は <設定した日数（日）>に設定されています パスワードの有効期限を設定してください。ユーザーにロック解除パスワードの更新を要求する通知を定期的に表示します
その他	その他設定制限	
	その他の設定内容は、Device Config Plugin の設定画面を表示します。Device Config Pluginの内容はソフトのバージョンやインストールしているアプリに依存しますので、Device Config Pluginに関する詳細情報は下記ページをご参照ください。 https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcplugin.html	

*1 OTA の無効化を「オン」に設定しているときにシステムトレイにソフトウェア・アップデートが可能である旨の通知が行われる場合がありますが、アップデートの操作はできません。